

完成したプロジェクトを一括で無効にする方法



この資料では、

「完成したプロジェクトを一括で無効にする方法」について記載しています。

勘定奉行 i 10/ i 8/ i [個別原価管理編] シリーズ、勘定奉行V ERP10/V ERP8/V ERP[個別原価管理編]では、プロジェクトは会計期間をまたいで使用するため、**過年度に伝票があると削除できません**。そのため、完成したプロジェクトを翌期以降で、仕訳入力で使用しない、帳票に出力させないためには、プロジェクトを無効にします。

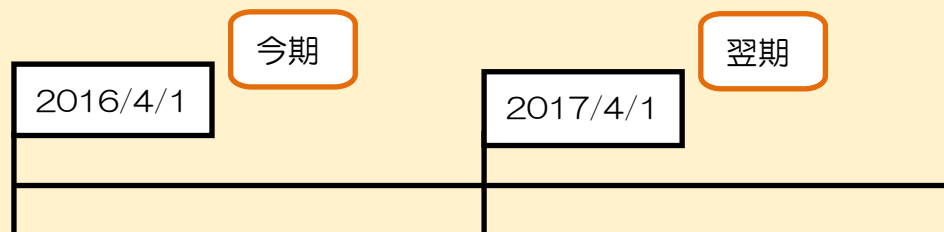
なお、完成したプロジェクトを無効にすることで、集計速度を改善できます。

以下の2つの方法をご用意していますので、どちらの方法でご対応ください。

- ・「P2：入金残または支払残があるプロジェクトを無効にする。」
- ・「P4：入金残と支払残がともにないプロジェクトを無効にする。」

参考

翌期にプロジェクトを無効にするためには、有効期間（終了日）に今期の期末日を設定します。



●プロジェクトA

有効期間終了日：2017/3/31

⇒今期：有効 、 翌期：無効

※有効期間が今期までとなっているため、翌期は無効です。

●プロジェクトB

有効期間終了日：2017/6/30

⇒今期：有効 、 翌期：有効

※有効期間が翌期の途中となっているため、翌期は有効です。

※本手順書の画面イメージは『勘定奉行 i 10[個別原価管理編]シリーズ』のものです。

画面イメージはご利用の製品、バージョンにより異なる場合があります。

入金残または支払残があるプロジェクトを無効にする。

今期中に完成したプロジェクトを翌期では使用しないため、[随時処理]-[データ一括変更]-[マスターデータ一括変更]-[マスターデータ一括無効]メニューを実行し、プロジェクトを無効にします。なお、本メニューでは、入金残または支払残があるプロジェクトを無効にすることができます。

● マスターデータ一括無効



- ⑤ 入金残または支払残があるプロジェクトを無効にするため、チェックをはずします。
※入金残、支払残があるプロジェクトの確認方法は、6ページを参照



マスターデータ一括無効

OBCソフトウェア株式会社 会計期間：2016年 4月 1日 ～ 2017年 3月 31日 Myヘルプ

有効期間（終了）日付 2017年 3月 31日

| プロジェクト | プロジェクト名 | 年 | 月 | 日 | 年 | 月 | 日 | 用途区分 |
|-------------------------------------|--------------------------|---|---|---|---|---|---|------|
| <input checked="" type="checkbox"/> | 00000000016 EDI | | | | | | | 通常 |
| <input checked="" type="checkbox"/> | 00000000017 | | | | | | | 通常 |
| <input checked="" type="checkbox"/> | 00000000018 | | | | | | | 通常 |
| <input checked="" type="checkbox"/> | 00000000019 CADシステム | | | | | | | 通常 |
| <input checked="" type="checkbox"/> | 00000000020 土木設計システム | | | | | | | 通常 |
| <input checked="" type="checkbox"/> | 00000000021 資産管理システム | | | | | | | 通常 |
| <input checked="" type="checkbox"/> | 00000000022 手形管理システム | | | | | | | 通常 |
| <input checked="" type="checkbox"/> | 00000000101 人事情報システム | | | | | | | 通常 |
| <input checked="" type="checkbox"/> | 00000000102 スケジュール管理システム | | | | | | | 通常 |
| <input checked="" type="checkbox"/> | 00000000103 | | | | | | | 通常 |

⑥ 無効にしたいプロジェクトにチェックをつけます。
※「F7：全選択」ボタンをクリックすると、すべてのプロジェクトにチェックがつきます。

⑦ 「F2：実行」ボタンをクリックします。

F1 操作説明 F2 実行 F3 F4 F5 F6 F7 全解除 F8 F9 F10 条件設定 F11 F12 閉じる

バックアップ確認

処理を実行する前に、現在使用しているデータをバックアップを行いますか？

注意
万一がに備え、バックアップを行うことを強く推奨します。

⑧ [はい]ボタンをクリックして、バックアップをお取りください。

マスターデータ一括無効

無効日付：2017年 3月 31日
上記日付で無効にします。よろしいですか？

マスターデータ一括無効

処理が終了しました。

入金残と支払残がともにないプロジェクトを無効にする。

[決算処理]-[期末処理]-[期末残高繰越]メニューにて、期末残高の繰り越しと同時に完成したプロジェクトを無効にすることができます。

● 期末残高繰越

期末残高繰越

○ＢＣソフトウェア株式会社

会計期間：2016年 4月 1日 ～ 2017年 3月 31日 決算期 第 6 期

繰越元 会計期間 2016年 4月 1日 ～ 2017年 3月 31日

繰越先 会計期間 2017年 4月 1日 ～ 2018年 3月 31日

詳細設定

☒ 完成したプロジェクトを翌期では無効にする

繰越利益剰余金の算出方法 翌期の期首残高で貸借
仮払・仮受消費税の繰越部門 「仮払・仮受消費税」

実行情報

| 処理日時 | 備考欄 |
|------|-----|
| | |
| | |
| | |
| | |

【注意】
処理を実行後、チェックリストが出力された場合、または実行情報に「繰越完了」以外の履歴が表示されている場合は、チェックリストを参考に、別途対応が必要です。

F1 操作説明 F2 実行 F3 F4 F5 F6 F7 F8 印刷 F9 詳細設定 F10 通知設定 F11 F12 閉じる

参考

[期末残高繰越]メニューでは、入金残と支払残がともにないプロジェクトのみ無効にできます。
入金残または支払残があるプロジェクトを無効にする場合は、2ページを参照してください。
また、入金残、支払残があるプロジェクトの確認方法は、6ページを参照してください。

プロジェクトを無効にした場合の挙動

● プロジェクト登録

有効期間の終了日に、日付が設定されます。

- ・マスターデータ一括無効 : 有効期間(終了)日付指定で指定した日付
- ・期末残高繰越 : 今期の期末日

プロジェクト登録

OBCソフトウェア株式会社

参照

コード: 00000000051

プロジェクト名: 人事情報システム

プロジェクト略称: 人事情報システム

基本区分 請負 導入前金額 売上伝票

有効期間: 年 月 日 ~ 2017 年 3 月 31 日

● 仕訳処理

仕訳処理

OBCソフトウェア株式会社

新規

伝票日付

行 部

プロジェクト / サブプロジェクト

101 第一開発部

680 外注加工費

課仕入 8.0%

324 (24

00000001 太平洋販売株式会社

00000000051

有効期間外のプロジェクトです。

OK

無効なプロジェクトを指定するとメッセージが表示されるため、入力ミスを防げます。

参考

無効なプロジェクトに仕訳を追加する場合には、[プロジェクト登録]メニューで、有効期間の終了日を変更してください。

● 原価帳票

プロジェクト一覧表

OBCソフトウェア株式会社

会計期間: 2017 年 4 月 1 日 ~ 2018 年 3 月 31 日

集計期間: 自 2017 年 4 月 1 日 至 2018 年 3 月 31 日

税処理 税抜 集計方法 発生 (単位: 円)

| コード | プロジェクト名 | 当期製品製造原価 | 当期総製造費用 | 材料費 | 労務費 | 経費 |
|-------------|--------------|-------------|-------------|---------|------------|------------|
| 00000000013 | 販売管理システム | | | | | 3,429,904 |
| 00000000014 | 在庫管理システム | | | | | 2,844,954 |
| 00000000015 | ラベル作成ソフト | | | | | 635,096 |
| 00000000016 | EDIシステム | | | | | 3,813,820 |
| 00000000101 | 人事情報システム | | | | | 1,031,115 |
| 00000000102 | スケジュール管理システム | | | | | 1,923,107 |
| 00000000103 | 人事派遣システム | | | | | 8,016,119 |
| 【完成合計】 | | 149,860,187 | 149,860,187 | 842,743 | 76,229,661 | 72,787,783 |

無効なプロジェクトは、出力されません。
※条件設定で直接無効なプロジェクトを指定した場合は、出力されます。

F1 操作説明 F2 印刷等 F3 項目選択 F4 F5 F6 ジャンプ F7 情報 F8 再集計 F9 単位設定 F10 条件設定 F11 F12 閉じる

入金残・支払残があるプロジェクトの確認方法

● 入金残の確認方法

[原価帳票]-[プロジェクト別原価帳票]-[プロジェクト一覧表]-[プロジェクト一覧表]メニューより、入金残を確認できます。

プロジェクト一覧表 - 条件設定

基本条件 | 詳細条件1 | 詳細条件2 | ...

プロジェクト一覧表レイアウト: 指定なし

集計方法: ☒ 発生 ☐ 累計

① 集計期間は、今期の会計期間を指定します。

集計期間: 2017年 3月期 ~ 2017年 3月期
月範囲(I)... 2016年 4月 1日 ~ 2017年 3月 31日

集計対象: ☒ プロジェクト ☐ プロジェクト区分

集計対象指定: ☐ プロジェクトを指定する ☐ 親プロジェクトにまとめて集計する ☐ 内訳表示する

完成区分: ☐ 仕掛 ☒ 完成 ☐ 両方
完成日指定なし

基本条件 | 詳細条件1 | 詳細条件2 | サブプロジェクト | 項目選択

☐ 原価管理項目区分コードを表示する

プロジェクト出力設定

③ プロジェクト出力設定は、「入金残高があるプロジェクトだけ出力する」を選択します。

☐ 原価管理項目区分に金額があるプロジェクトだけ出力する
☒ 入金残高があるプロジェクトだけ出力する
☐ すべてのプロジェクトを出力する

☐ コードが[0]のプロジェクトを表示する

プロジェクト一覧表

会計期間: 2017年 4月 1日 ~ 2018年 3月 31日

集計期間: 自 2016年 4月 1日 至 2017年 3月 31日

税処理: 税抜 集計方法: 発生 (単位: 円)

| コード | プロジェクト名 | 予算残 | 消化率 | 入金額 | 入金残 | 入金率 |
|-------------|--------------|------------|-------|-----------|-------------|------|
| | 完成プロジェクト | | | | | |
| 00000000001 | 人事情報システム | 40,631,425 | 35.58 | 2,500,000 | 212,980,000 | 1.16 |
| 00000000002 | スケジュール管理システム | 16,611,866 | 21.73 | 0 | 30,996,000 | 0.00 |
| 00000000003 | 人事派遣システム | 36,876,626 | 31.01 | 600,000 | 69,060,000 | 0.86 |
| 00000000004 | テレビ会議システム | 33,245,378 | 41.12 | 700,000 | 78,701,600 | 0.88 |
| 00000000005 | 旅費精算システム | 24,056,544 | 28.64 | 400,000 | 52,412,000 | 0.78 |
| 00000000006 | 連結決算システム | | | 400,000 | 53,384,000 | 0.74 |
| 00000000007 | 銀行業務ソフト | | | 0 | 95,880,000 | 0.83 |
| 00000000008 | 投資信託ソフト | | | 0 | 59,724,000 | 0.00 |
| 00000000009 | 顧客管理システム | | | 0 | 81,378,000 | 0.00 |
| 00000000012 | 商品管理システム | | | 0 | 96,562,800 | 0.00 |
| 00000000013 | 販売管理システム | 39,454,673 | 11.24 | 0 | 133,056,000 | 0.00 |
| 00000000014 | 在庫管理システム | 16,236,633 | 25.38 | 0 | 85,307,040 | 0.00 |
| 00000000015 | ラベル作成ソフト | 7,687,177 | 10.85 | 0 | 27,872,000 | 0.00 |
| 00000000016 | EDIシステム | 8,180,580 | 40.92 | 0 | 95,472,000 | 0.00 |
| 00000000017 | 警備システム | 26,421,044 | 6.12 | 0 | 56,786,400 | 0.00 |

完成プロジェクトで、入金残があるプロジェクトだけが出力されます。

F1 操作説明 F2 印刷等 F3 項目選択 F4 F5 F6 ジャンプ F7 情報 F8 再集計 F9 単位設定 F10 条件設定 F11 F12 閉じる

《 入金額の集計対象の科目について 》

以下の2つの勘定科目を対象とします。

- ・[導入処理]-[原価管理体系登録]-[原価管理項目登録]メニューで、「項目属性」が「売上」「前受金」「売掛金」になっている原価管理項目と関連づいている勘定科目
- ・勘定科目「仮受消費税」

《 入金額の集計について 》

以下の2つの合計金額が入金額として集計されます。

- ・対象の科目の仕訳明細金額（貸方発生金額から借方発生金額を差し引いた金額）
- ・[導入処理]-[プロジェクト関連登録]-[プロジェクト登録]-[プロジェクト登録]メニューの「導入前の入金額」の金額

《 入金残の集計について 》

[導入処理]-[会計期間設定]-[原価管理設定]メニューの「入金残計算方法」により集計対象が変わります。

◎「請負金額－入金合計」の場合

⇒ 請負金額－入金合計

◎「売上高－入金合計」の場合

⇒ 売上高－入金合計

| 参照 | | |
|------------|------|-------------|
| 基本設定 | 計算方法 | 詳細設定 |
| 【請負金額計算方法】 | | |
| 請負金額計算方法 | 1 | 集計期間を加味する |
| 【粗利益計算方法】 | | |
| 粗利益計算方法 | 1 | 売上高 - 製造原価 |
| 【入金残計算方法】 | | |
| 入金残計算方法 | 0 | 請負金額 - 入金合計 |

※各項目は、以下のように集計します。

○「請負金額」

[導入処理]-[プロジェクト関連登録]-[プロジェクト登録]-[プロジェクト登録]メニューの[請負]ページの税込の請負金額です。

なお、[導入処理]-[会計期間設定]-[原価管理設定]メニューの「請負金額計算方法」により、集計対象が変わります。

◆「集計期間を加味しない」

⇒ すべての請負金額を集計します。

◆「集計期間を加味する」

⇒ 請負日付を加味して、集計終了日までの請負金額を集計します。

| 参照 | | |
|------------|------|-----------|
| 基本設定 | 計算方法 | 詳細設定 |
| 【請負金額計算方法】 | | |
| 請負金額計算方法 | 1 | 集計期間を加味する |

○「売上高」

以下の2つの合計金額です。

- ・[導入処理]-[原価管理体系登録]-[原価管理項目登録]メニューで、「項目属性」が「売上」になっている原価管理項目と関連づいている勘定科目の税込の明細金額
- ・[導入処理]-[残高入力]-[導入前金額入力]-[導入前実績金額入力]メニューの金額

○「入金合計」

「入金額」の「累計」の金額を集計します。

● 支払残の確認方法

《 支払残の集計対象の科目について 》

「マスターデータ一括無効」メニュー、「期末残高繰越」メニューで「支払残の集計科目」に設定された勘定科目が対象です。

マスターデータ一括無効 - 条件設定

基本条件 項目選択

有効期間（終了）日付指定
2017 年 3 月 31 日

範囲指定
完成区分 1 完成
完成日 年 月 日 ~ 年 月 日
指定なし 年 月 日 ~ 年 月 日

完成プロジェクトの詳細指定
☒ 入金残があるプロジェクトを含めない
☒ 支払残があるプロジェクトを含めない

科目設定(S)...

マスターデータ一括無効 - 科目設定

支払残の集計科目
勘定科目コード 1

| コード | 名称 |
|-----|-----|
| 305 | 買掛金 |

登録 閉じる

参考
あらかじめ「買掛金」が設定されています。

期末残高繰越 - 詳細設定

繰越元 繰越先 詳細設定 完成 繰越利益 仮払金

実行情報
処理日 2017/0

期末残高繰越 - 詳細設定

繰越利益剰余金 消費税科目 完成プロジェクト

完成プロジェクトの無効条件
支払残の集計科目
勘定科目コード
コード 名称
305 買掛金
削除(D)

入金残の集計項目
入金残の集計項目を確認する場合は、[操作説明]を押します。

OK キャンセル 操作説明(H)

翌期首で再計算する
翌期の期首残高で貸借差額が発生しないように調整されます。
基本的にこちらを選択します。
当期金額を繰り越す
「繰越利益剰余金」科目の当期の期末残高を、そのまま翌期へ繰り越します。
「繰越利益剰余金」科目の翌期の期首残高と前期の期末残高は一致します。
詳細⇒[操作説明]ボタン

操作ガイド
当期の会計期間で伝票の追加や修正があった場合に、その影響額を翌期の期首残高へ反映させます。実行情報の備考欄に、「繰越完了」と表示されている場合は、チェックリストを参考に、別途対応が必要です。
【参考】
○「繰越利益剰余金」、「仮払消費税・仮受消費税」科目の繰越方法の変更は、[詳細設定]を押します。
プロジェクトを翌期へ繰り越す」については、[操作説明](F1)をご参照ください。
詳細⇒[操作説明](F1)

F1 操作説明 F2 実行 F3 F4 F5 F6 F7 F8 印刷 F9 詳細設定 F10 通知設定 F11 F12 閉じる

《 支払残の集計について 》

「支払残の集計科目」に指定された勘定科目の金額を集計します。

《 「支払残の集計科目」に指定された勘定科目の残高の集計方法について 》

指定した「有効期間(終了)日付」により、集計方法が異なります。

- ◎ 指定した「有効期間(終了)日付」が、勘定奉行導入後の会計期間内の場合
⇒ [導入処理]-[残高入力]-[開始残高入力]-[開始残高入力]メニューで登録されている
開始残高 + 仕訳明細金額
- ◎ 指定した「有効期間(終了)日付」が、勘定奉行導入前5年間の会計期間内の場合
⇒ [導入処理]-[残高入力]-[導入前金額入力]-[導入前実績金額入力]メニューで登録されている
開始残高 + 発生金額

参考

期末残高繰越メニューの場合は、今期の会計期間の会計期末日が「有効期間(終了)日付」になります。

以 上